

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	1年B巡	単元	実習	教科名	エンジン分解組立2		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3級ガソリンエンジン エンジン分解組立 I レポート		発行日	2024年6月5日	
総時限	16時限				教科担 当	白取	● ■
						1年担当教員	● ■

1. 指導教員の実務経験

自動車整備士としてエンジン装置分解点検整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動、整備作業について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ① エンジンの内部構造を理解する。
- ② エンジン内部主要部品、潤滑系、冷却系の名称、構造、作動、特徴を理解する。
- ③ エンジンの分解組立整備手順と注意項目を習得する。
- ④ 一般工具、特殊工具の取扱いを習得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ① エンジンの内部構造が解る。
- ② エンジン内部主要部品、潤滑系、冷却系の名称、構造、作動、特徴が解る。
- ③ エンジンの分解組立手順と注意項目が解る。
- ④ 一般工具、特殊工具、計測機器の取扱いが正しくできる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・実習履修試験での得点評価

整備科60点以上で合格

工学科70点以上で合格

80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」

再試験合格の場合得点に関わらず「可」、再試験不合格の場合、学校長判断により判定試験を実施し、合格の場合「可」

《実技試験 配点：50点 試験時間10分》

《実技・筆記試験 配点：30点》

① 交換を想定しタイミングチェーン脱着

① 完成検査：10点

② レポート課題：10点

5. 準備学習

エンジンの基礎知識を事前に読んでおく事。

安全テキストでボルト・ナットを緩める時の注意事項を熟読して理解しておく事。

※ ●⇒実務経験がある教員

※ ■⇒日産資格保持者

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	B巡	単 元	実 習	教科名	エンジン分解組立2
-----	----	-----	-----	-----	-----------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	エンジンスターンドについて	作業時保持以外に手や足をかけない スタンドの角部に足を引っかけない様注意	エンジン落下による怪我のおそれ 角部にて足元を切損	
2	エンジン各部位端部について	エンジン各部位端部は加工されたまま なので手を切りやすいので注意する	手指の切損	
3	E X マニカバーについて	加工のままなので注意する	手指の切損	
4	手袋の使用について	エンジン内部作業以外は手袋使用させる		
5	床にたれた水、オイル	滑りやすくなる為、直にふき取る		
6	使用工具	使用した工具は速やかに元に戻す		
7	ピストンヒーターについて	お湯の扱いに注意	火傷	
8	エンジンスターンド位置決め後	輪っか状の輪留めを使用する	ボルト、ナットの締め付け、緩め時に キャストのロックを掛けていても ブレーキが甘く動くことがある。	



8. 授業レイアウト (写真の貼り付け可)

ブレーキが甘く動くことがある。

実習場	座学教室
⑫ ⑧ ④ ① ⑨ ⑤ ② ⑬ ⑩ ⑥ ⑭ ⑪ ⑦ ③	